

1995年出土の木簡



(沼津)

6 遺跡の年代
一二世紀～一五世紀

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要
御所之内遺跡は、伊豆半島の頸部、狩野川右岸の独立丘陵守山の北側に展開する広大な遺跡で、北条氏の館、円成寺、堀越御所跡が重複している。東海道三島宿からは南方約七kmに位置し、標高一三m程の自然堤防上である。

木簡は、幅三・一m深さ

一・三mの堀の底から、馬骨・かわらけ・竹籠などとともに一点出土した。年代は、他の遺物から一四世紀

静岡・御所之内遺跡

と考えられる。

8 木簡の釈文・内容

(1) 如来尊重智慧深

(240) × 15 × 0.8 019

本木簡は上部が折損し、下端部は腐朽している。「遠」の一文字が欠落しているが、法華經卷第三、藥草喻品第五の「如來尊重智慧深遠」を書いた柿經とみられる。

9 関係文献

9 菴山町教育委員会『御所之内遺跡第八次発掘調査概報』(一九八九年)

(原茂光)